

相愛大学研究シーズ集

シーズ名	イギリス・モダニズム期の作家・作品研究
所属	人文学部 人文学科
氏名	石川 玲子
<p>【概要】</p> <p>イギリスのモダニズム作家、ヴァージニア・ウルフとキャサリン・マンズフィールドについて、研究を進めている。19世紀末から20世紀初頭を生きたこれらの女性作家たちが何を考え、どのように書いたのか、彼女たちの精神世界と時代・社会との関わりをテキストの精読と伝記的研究を通して解き明かしたい。</p> <p>現在は、ヴァージニア・ウルフの「ターニングポイント」(Stape xi) としても評価される <i>Orlando</i> 以降の小説やエッセイ、日記を通して、ジャンル、ジェンダー、人種、階級に対する作家としてのウルフの考え、特にそれらに存在する境界を超える、もしくはその境界上に身を置くという意識や身振りを明らかにし、それが作品表象とどう結びついているかを検討したいと考えている。</p> <p>* Stape, J.H. "Introduction." <i>Oroando: A Biography</i>, by Virginia Woolf, The Shapkespeare Head Press, 1998.</p>	
キーワード	イギリス小説、モダニズム、Virginia Woolf, Katherine Mansfield, 境界、闘